

つつ子育てをする難しさを身をもって知ることとなりました。なにより子どもはかわいい、子育てを通して自分自身も成長できます。それが子どもを持つ前に分かりました。非常に貴重な体験ができました」

子育ては夫婦ですもの、時には学

生の手を借りながらという「みんなで育児」(みん育児)の意識が芽生えつつあるようだ。

社内向けにこのほど「イクメンハンドブック」を作成したのは日本生命で、企業でも男性の子育ての関わり方や育児休暇の取得などへの理解が求めら

れている。「子育てを通じて時間の管理や対話する能力が高まる」と業務上のプラス面も見出されている。

子どもに優る宝なし——山上憶良が万葉集で詠んでいる。『銀(しろがね)も金(くがね)も玉も何せむに優れる宝子にしかめやも』



インターンシップ・ダイアリー

5月上旬

「スリール」(堀江敦子社長)のワーク&ライフ・インターンシップ活動初日。同じ時期に入った仲間16人と一緒に子どもさんをお預かりする事前研修の始まりだ。保育士などの研修を元にしたスリール独自のテキストで、子どもとの接し方を習う。子どもは年齢ごとに接し方が違うようで、人形を子どもに見立てて、おむつの替え方、ミルクの作り方などを学ぶ。トラブル対処法の指導も受けた。この研修で不安が少し減った。

初顔合わせに緊張走る

5月中旬

担当する初めての子どもさん・Y君のお預かりに入る。ワーク&ライフ・インターンシップ3カ月経験の先輩学生と一緒に保育園へ。Y君を迎えに行く途中、接し方のポイントやきょうしなればならないことなどを教えてもらう。Y君との初顔合わせに緊張した。先輩がうまく取り持ってくれてスムーズに仲良くなることができた! 保育園でお迎えをしてY君の家へ。Y君の母親が仕事を終えて帰宅するまでの3時間、3人で楽しく遊んだ。でんぐり返しの練習をして、レゴ(玩具)で遊んだ。

名前を呼んでくれた

5月下旬

お預かり2日目。先輩と一緒にY君宅の最寄り駅で待ち合わせをして保育園へ向かう。玄関でY君が勢いよく出てきてくれて、「やすく〜ん」と名前を呼んでくれた! 家に帰る道すがらY君は虫や植物に興味津々。あちらこちらで立ち止

研修で不安払しょく



Y君やパートナーのCちゃん(右端)とレゴで遊ぶ

まる。大人の足で15分の道のりを1時間かけて歩いた。きょうはY君がお風呂に入る日だ。実践しながら先輩に教えてもらう。シャンプーでいろんな髪型を作り、楽しみながらY君をお風呂に入れることができた。我々は、袖口をまくる程度で服は脱ぎません。

うまくいかない

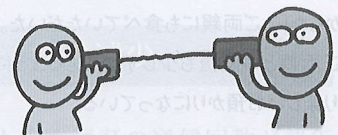
6月上旬

6月でワーク&ライフ・インターンシップが代替わりして、きょうから私と新パートナーによる組み合わせでY君をお預かりする。お迎え、お風呂、ご飯づくりで苦戦したが、Y君と空箱で作ったボウリングをして、きょうも楽しいお預かりになった。スムーズにできなかった点をお預かり終了後に提出する日報に書くと歴代先輩がアドバイスをしてくれた。

先輩とはこんなやり取りがあった。

「お風呂に入ってもらいたいとき、Y君は遊びをやめません…」

「そういうときは限定作戦で乗り切ってください。例えばボール遊びをやっていてお風呂に行かないと言ったら“お風呂から上がったから、またボール遊びをしよう”。あるいは“あと5回ボールを投げたら、いったんお風呂に行こう”。“さっと入って、またいっぱい遊んじゃおう”。こんなふうに声掛けをしてみたら、きっとY君はボールを



1回、2回と数えながら投げると思います。どうしても困ったら、この限定作戦を試してみてください」

ありがたい助言を生かし、次回は改善しようと決意した。

家まで競走だ

6月下旬

保育園からの帰り道、Y君と競走した!

家に着くとパートナーのCちゃんがお風呂の準備をしてくれていたの、Y君とミニカーで遊んだ。彼女がそのままY君の入浴を手伝った。晩ごはんは焼そばを作った。先輩からのアドバイスや月に1度行われる同期メンバーとのミーティングで、お預かりをスムーズにするポイントを学んだせいか、最近はパートナーとの役割分担ができて、効率のよいお預かりになっている。効率のよさはY君と遊ぶ時間を増やす。週2回のお預かりが楽しくて仕方がない。

ミスした

7月上旬

パートナーのCちゃんが都合で来れない日。同期の仲間へヘルプを頼まなくてはならなかったのだが、直前まで忘れていて、Y君のご両親に心配をかけてしまった。Y君のお預かり自体は同じ遊びにでも毎回少し工夫を入れて遊んだり、笑ったりと変わりなく楽しい。しかし、ご両親に心配をかけないという大前提が疎かになっていた。今後はY君に楽しんでもらうだけではなく、ご両親にも安心してもらえるようなお預かりをすることを決意した。